

平成25年 5月14日
船工25第 92号

報 道 各 位

Offshore Technology Conference2013 展示会への参加について

一般社団法人 日本船用工業会

一般社団法人日本船用工業会は、5月6日から9日まで米国ヒューストンの Reliant Park にて開催された「Offshore Technology Conference (OTC) 2013」へ、一般財団法人日本海事協会 (ClassNK) とともにブースを設けて出展し、日本の船用工業製品のアピールを積極的に行った (当会は日本財団の助成事業。)

世界最大規模のオフショア展示会である OTC は今年45回目の開催 (毎年開催) であるが、本年の OTC2013 には2,728社 (2012年は約2,500社) が出展、展示会主催者の発表によれば、今年は昨年比、17%増のオフショア関係者約104,800人が訪問し (2012年は約89,000人)、当展示会史上2番目に多い訪問者数で、会場は大変賑わっていた。

主要な企業としては、Offshore 事業で世界的に有名な Technip、Cameron、FMC Technology 等の大手エンジニアリング会社が、浮体式石油生産貯蔵積出設備 (FPSO)、石油掘削リグ、それら関連機器等の模型を展示するなど大々的にPRした。日本企業では当会会員である濱中製鎖工業(株)及び横河電子機器(株)が海外の企業に交じり自社製品のPRに努めていた。

同展示会の期間中、当会は各国の船用工業会、造船工業会、企業等のブースを積極的に訪問し、特に、韓国船用工業会 (KOMEA)、ブラジル国家石油庁 (ANP)、ブラジル造船工業会 (SINAVAL/ABENAV)、ノルウェーの設計会社 ULSTEIN DESIGN & SOLUTIONS AS、アメリカの設計会社 Gusto MSC 等と意見交換するなど交流を深めた。

また、同展示会参加に併せて、在ヒューストン日本国総領事館、MODEC International, Inc. へ国土交通省 (海事局船舶産業課大坪国際業務調整室長) とともに訪問し、Offshore ビジネスについて米国等 Offshore 先進国の最新状況、日系企業のオフショアビジネスへの参入方法等について意見交換を行った。

更に、OTC の会期に併せて開催された、世界のエネルギー都市が加盟する団体である「World Energy Cities Partnership」が主催するレセプションにも参加し、関係者との意見交換を行った。

当会としては、オフショア分野の展示会への参加は今回が初めてであるが、オフショアビジネスへの参加を少しでも増大させるため、今後も引き続き、これらの展示会への参加を検討してゆくこととしたい。

(参考)

Offshore Technology Conference

<http://www.otcnet.org/2013/>

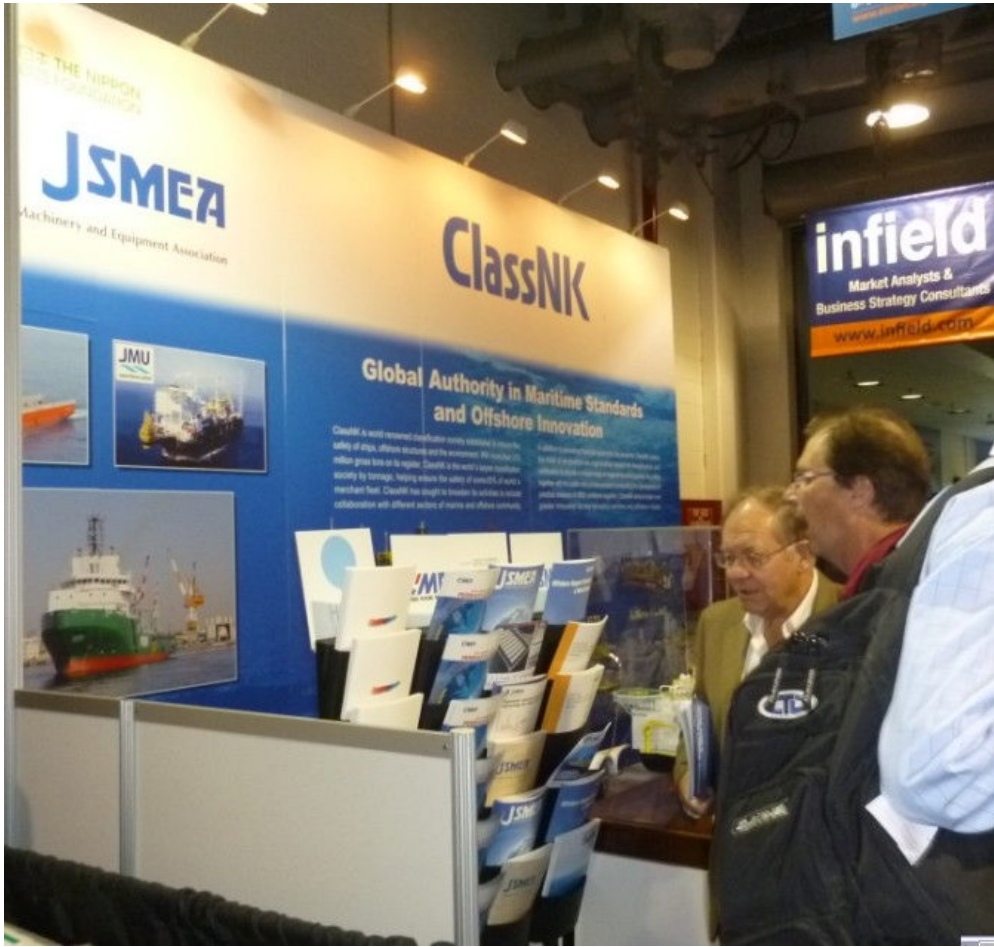
この件に関するお問い合わせ先：

一般社団法人 日本船用工業会 業務部 石田・重入

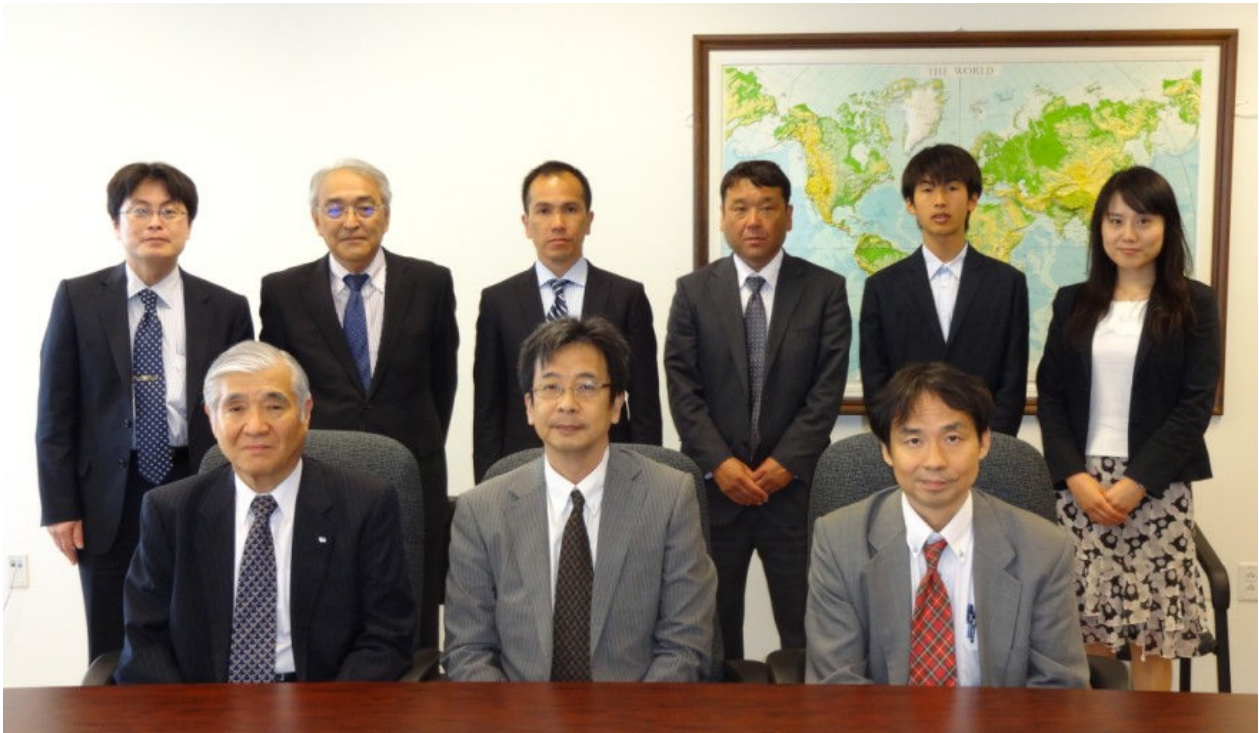
TEL:03-3502-2041

FAX:03-3591-2206





在ヒューストン日本国総領事館表敬訪問



在ヒューストン日本国総領事館 渡部 隆彦総領事代理（前列左から2番目）
在ヒューストン日本国総領事館 小出 綾子副領事（後列右）
国土交通省 海事局船舶産業課 大坪 新一郎 国際業務室長（前列右）
（一社）日本船用工業会 藤本 幸延 副会長（前列一番左）
（一社）日本船用工業会 北村 正一 専務理事（後列左から2番目）

MODEC International, Inc. 訪問



World Energy Cities Partnership主催レセプション

